

留学体験レポート

永井瞳

私は留学に行く前と行ったあとで、韓国人の人柄についての印象が大きく変わりました。まず、私が韓国で暮らしながら何度も思ったことがあります。それは韓国人は優しいということ。先生やトウミ、韓国人の友達だけでなく、電車に乗っている人、お店の店員さん、町を歩いている人、少なくとも私が出会った韓国人は皆優しい人ばかりでした。正直、留学に来るまでは韓国人の良い人柄についての話は聞いたことがありませんでした。私が聞いた話では、タクシーではぼられる、すりに気を付けろなどといった話で、良いものではなかったのです。しかし実際は全く違いました。タクシーの運転手さんは私の拙い韓国語を聞き取ろうとしてくれたり、ゆっくり分かりやすく話しかけてくれたりしました。ぼられるということももちろんありませんでした。電車でも年上の方にはもちろん、子供連れの方や怪我をしている人に席を譲ることが当然であるようでした。これは簡単で当たり前のことなのではないかと思うかもしれないけれど、日本ではできていないと感じることが多々あります。なので、韓国の席の譲り合いが徹底されている様子を見て感動しました。また、これは若者よりは年配の方に見られる傾向だと思いますが、年配の方は誰にでも気兼ねなく話しかける、フレンドリーな方が多いと思いました。実際に電車で私たちにも話しかけてくる方が何人もいました。「日本人留学生です。韓国語を学んでいます。」この言葉を何度も言う機会がありました。また、電車で隣同士に座っていた全く初対面であろう人同士が仲良さそうに話している光景も度々目にしました。初めは友達なのかな？と思って見ていましたが、よく考えると乗ってきた場所も降りる場所も違ったので、初対面でも話しかけることが普通なのかなと思いました。日本ではまず見られない光景だったので面白かったです。見ているこっちも和むことができるので、日本のおじいちゃん、おばあちゃんもあれくらいフレンドリーだったらいいなと思いました。そして、一番良いなと思ったのが、韓国人は良い意味で他人に関心あまりないのかなという点です。私は日本にいたときお店で周りの客にじろじろ見られたことがあります。とても不快でした。けど、韓国ではそのようなことが一度もなかったような気がします。他人に関心がないというのは私にとってとても楽で良かったのですが、韓国人の話聞いて、韓国人は変なところで他人の目を気にするということがわかりました。お店で一人でご飯を食べると、友達がいらないと思われるから食堂でご飯を食べる際は必ず誰かと一緒に行くそうです。また、私が当時前髪を眉上にしていたのですが、そういった少し珍しい行為も周りのみんなと差異が生じることが嫌だからしない人がほとんどだと言っていました。私は人それぞれの個性があった方がもっと面白いし魅力的だと思うので、その点においてはあまり好めませんでした。

このように韓国人は噂で聞いていた性格とは全く異なり、むしろ良い人ばかりであることを知ることができました。と同時に、日本人と韓国人とでは基本的性格においていくつかの違いがあることも改めて実感しました。日本と韓国はお互いに良いところをもってい

と思うけど、ただそれを実際に見てお互いを知る機会がないがために、日本と韓国の両国では今でもお互いを敵視している人がいるように感じます。私が留学に行って韓国人の性格を誤って捉えてしまっていたことに気づけたように、一人でも多くの人が誤解に気づくことができれば、日本と韓国が仲の良い国と国になることにつながると思います。